

京都大学附属図書館 ラーニング・コモンズ

ラーニング・コモンズは、京都大学の理念「対話を根幹とした自学・自習」と共鳴する空間。

グループワークやディスカッション、プレゼンテーションや展示などの多様な利用に対応し、学習と表現、そして知的交流を可能にします。

学生の皆さんが主体的に作り上げる「**学びの実験場**」としてどうぞご活用ください。

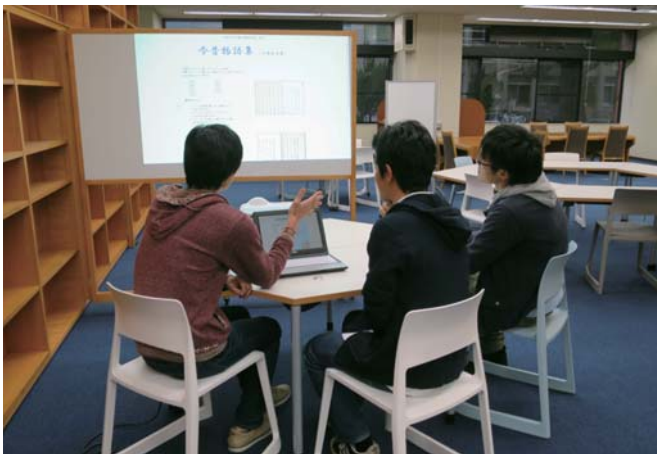




新たな学びの空間 **ラーニング・コモンズ**

空間デザインに始まり、什器の選定からサイン制作まで、教員、図書館員、学生が協働。京都大学の図書館の伝統と新しい学習スタイルの調和を目指しました。中央の木造物は、大学のシンボルである

クスノキをモチーフに、人の出会いと創発の場を象徴します。ここに、図書館にあるラーニング・コモンズとして、効果的な学習と自由な創造を促す空間が生まれました。



多様な学習の空間

組替自由な机と前傾姿勢の椅子とともに、館内で親しまれてきた木製の机と椅子を配置。既存の書棚に取りつけた扉を開くとホワイトボード付の空間となります。また、壁面の大型ホワイトボードには映写も可能です。その他に移動式のホワイトボード、プロジェクターとスクリーン、電子黒板、大型ディスプレイ、学内無線LANなどを備えています。

学習 サポートデスク

エリア内には学習サポートデスクを設置。様々な分野の大学院生スタッフが図書館の利用方法や学習に関する相談にお答えします。また、すべてのスタッフが日本語と英語で対応できます。資料探しに困ったり、レポートの手助けが必要になったりした場合は気軽に相談してください。レポート執筆やプレゼンテーション技法に関する図書も備えています。

